

公表

## 事業所における自己評価総括表

事業所名	学齢期療育相談・支援事業所いーずII			
保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～	令和7年3月12日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	6名
従業者評価実施期間	令和7年2月19日		～	令和7年2月28日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

## 分析結果

	事業所の強み( )だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高いサービスの提供	毎回、朝礼で前日の支援の振り返り、当日の支援の確認を全体で行っている。全スタッフが共通認識で支援できるようLINEワークスのグループを活用して、情報を共有している。また、支援計画会議で積極的に意見を出し合っている。職種間で支援の統一が異なるよう法人全体で統一した支援を行っている。 法人内研修の周知、実施。法人の取り組みとして、任意で自ら研修に参加できる制度などある。	今後もよりよい支援を提供できるよう法人内研修で児童における様々な分野の内容を企画し、スキルの向上を図っていく。今後も継続して職員間での連携を図っていく。(積極的なコミュニケーションなど)
2			
3			

	事業所の弱み( )だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があまりない。	児童発達センター、社会福祉法人ではないため日頃交流する機会がほとんどない。 地域の児童とのつながり(関係性)があまりない	長期休み期間中などの外出活動(イベント活動)活用して地域との交流・繋がりを図っていく。(地域の交流スペースの活用するなど)
2	SNS、ホームページ等で情報の発信は行っているが、アンケート結果から保護者への認知が十分ではない。	保護者への十分な周知、説明不足。	契約時に保護者に案内する等、説明する機会が必要。
3			